

第7期 事業概要 (2020年3月期)

【基本方針】

当社は、「北欧時間が流れる森と湖での体験を通じて、こころの豊かさの本質を提供する」を企業ミッションとして、埼玉県飯能市に所在する宮沢湖において、北欧のライフスタイルやムーミンの物語の世界観を体験できる「メッツァ」を運営しております。当社は、来園されるゲストの皆様、株主の皆様、協賛企業、地元自治体・企業や取引先企業をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様からの信頼と共感をもとに、キャッシュフローの最大化を達成することで企業価値を高めてまいります。

【経営環境】

当期におけるわが国の経済は、東京オリンピック開催に向け、訪日外国人旅行者数の増加などが想定され、様々な業種で設備投資などが行われました。一方で消費税増税の影響による個人消費の伸び悩み、さらには新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当期の終盤にかけては大変厳しい状況となりました。

レジャー市場を取り巻く環境は、余暇に対する意識の高まりやライフスタイルの変化により、人々の生活のなかに必要不可欠な存在として根付き発展を遂げてきました。観光や娯楽、文化、教養といった個人の余暇に関わるビジネスが拡大し、日本の主要産業のひとつとして大きく成長を遂げてきました。

このような状況の中、当社は2019年3月にオープンしましたムーミンバレーパークが4月5日と計画を大幅に上回り、7月26日には来場者100万人目（2018年11月からの累計）のお客様をお迎えすることができましたが、長引く梅雨の直後に夏の猛暑が続き、第2四半期は来場者の計画を下回る結果となりました。11月以降は、顧客満足度を高めるための施策として、平日の駐車料金無料化、イベント“WINTER WONDERLAND in MOOMINVALLEY PARK”などにより、第3四半期は来場者数を回復することができました。

しかしながら、本来であれば3月のムーミンバレーパーク1周年に合わせたイベントをスタートし、入園料の改定や新1デパスの導入により更なるパークの魅力を発信するところでありましたが、中国及び日本を含む世界各国での新型コロナウイルス感染拡大の状況並びに政府、自治体からの要請等を踏まえ、メッツァにおいて来園者と従業員の安全を考慮し3月2日から3月13日までの間、ムーミンバレーパークを臨時休園することとなりました。

その後、ムーミンバレーパークでは、来園者・従業員の検温、消毒アルコールの設置場所の大幅増加、施設の換気・清掃など様々な感染防止策を徹底した上で、3月14日から営業を再開しましたが、3月28日には再度休園することとなりました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高5,153百万円（前年同期間は950百万円）、営業損失142百万円（前年同期間は営業損失1,146百万円）、経常損失362百万円（前年同期間は経常損失1,335百万円）、当期純損失436百万円（前年同期間は当期純損失1,339百万円）となりました。

第7期決算情報

埼玉県飯能市大字宮沢327番地6

株式会社ムーミン物語

代表取締役社長 千田 高

貸借対照表

(2020年3月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
流動資産	758	流動負債	1,412
固定資産	7,725	賞与引当金	28
		その他	1,383
		固定負債	5,776
		負債合計	7,189
		株主資本	1,279
		資本金	2,032
		資本剰余金	2,032
		資本準備金	2,032
		利益剰余金	△ 2,784
		その他利益剰余金	△ 2,784
		新株予約権	15
		純資産合計	1,295
資産合計	8,484	負債・純資産合計	8,484

損益計算書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
売上高	5,153	経常損失	△ 362
売上原価	4,049	特別利益	1
売上総利益	1,103	特別損失	72
販売費及び一般管理費	1,245	税引前当期純損失	△ 433
営業損失	△ 142	法人税、住民税及び事業税	3
営業外収益	99	当期純損失	△ 436
営業外費用	318		